

研究テーマ

言語活動の充実をととして科学的社会認識を育てる授業研究

1 主題設定の理由

社会認識とは、社会の事象・事物の本質を客観的に把握することである。この場合、社会科学の手法に基づくので、「科学的社会認識」ともいわれている。（大森照夫著「新社会科教育基本用語辞典」；明治図書）社会を科学的に認識するとはどうすることかは、社会科の教科としての性格に関わる基本的問題であり、立場によって論が分かれているが大きく3つの流れがあるとされる。

- ①社会科で目標とされる社会の「科学的認識」は、具体的には「事象や出来事の社会的意味を正しく理解する」こと。
- ②「実生活で直面する具体的問題を解決する。」こと
- ③社会的事象を科学的に認識する立場
（森分孝治著「社会科授業構成の理論と方法」：明治図書）

本部会ではこれまで、上記の流れを踏まえつつ、子どもたちに「科学的社会認識」を育成することを重視して、授業研究を進めてきている。子どもたちの社会認識が一般に、

- ・事実認識に基づいて帰納的に社会的な事象についての概念を形成する
 - ・事象間の関係把握によって、個々の事物や事象の概念をさらに関係概念（命題）にまで発展させる
 - ・認識によって形成された関係概念（命題）を検証もしくは応用したり、事象のもつ社会的意味（事象がそれを含む全体の中でどのように機能しているかを、人々の社会生活との関連においてとらえる）を考察したり、法則性を研究したりする
- といった過程をふみながら段階的に発展するといわれることから、それぞれの過程に十分留意するなかで、「科学的社会認識」を育てていきたいと考える。

そのために、どのような社会事象をとりあげ、どのような指導や支援、評価をしていけばいいのか研究を進めている。また同時に、近年重視されてきた「言語活動」についても、平成27年度から「社会科における言語活動」という面から研究を進め、実践を通して成果を挙げており、今後もさらに研究を深めていく。そして、これらの研究を通して、子どもたち一人一人に社会科の持つおもしろさや楽しさを味わわせる授業の創造を目指し、部会員一人一人が授業実践や資料提供を行ったり、授業研究会に参加したりしながら、研究を押し進めている。

2 研究の具体的内容・方法

（1）研究の柱

子どもたちの社会認識の過程に十分留意して、次の内容を研究の柱に据える

- どういった社会事象を子どもたちに提示するのか、基礎・基本の定着をどう進めるのか
- 子どもたちが事実認識や事象間の関係把握、事象の持つ社会的意味の考察などを進めるときに、教師はどのような指導や支援を行ったらよいか（発問や板書、資料の提示・活用等）
- 子どもたち一人一人の社会認識の深まりをどのように見取るか（学習の評価）、教師の授業のふり返り（子どもたち一人一人の社会認識を育てる授業だったか）をどのように行う

か（授業の評価）

○社会科の特性を踏まえた言語活動とはどのようなものか。また授業にどのように組み入れていくか。

○子どもたち一人一人に社会科のもつ面白さや楽しさを味わわせる授業をどのように創造するか

（２）研究の方法

①一人一実践を持ち寄り，研究の柱に沿って研究協議を進める。

②臨地研修を行い，授業に役立てる。

③授業実践と研究協議を行う。

3 今年度の研究の経過

5月10日 第1回社会科教育研究部会

今年度の研究について（部長・授業者決定）

5月27日 第2回社会科教育研究部会

今年度の研究について（研究主題・年間計画の決定）

実践報告

・5学年 「森林とわたしたくの暮らし」 塩山南小 那須栄樹教諭

6月14日 第3回社会科教育研究部会

実践報告

・3学年 「安全な暮らしとまちづくり」 岩手小 今井郁子教諭

・6学年 「大陸に学んだ国づくり」 山梨小 清水芳彦教諭

7月31日 第4回社会科教育研究部会

夏季学習会 臨地研修

甲府・峡東ごみ処理施設事務組合（甲府・峡東クリーンセンター）

8月28日 第5回社会科教育研究部会

小中合同授業実践および研究協議

中学2年生 「日本の姿」 授業者 塩山中 深澤歩未教諭

9月20日 第6回社会科教育研究部会（東山梨秋季教育研究集会）

小中合同研究会

・中学校実践授業 2年 「日本の姿」 塩山中 深澤歩未教諭

・小学校実践授業 5年 「森林とわたしたちの暮らし」

八幡小 畠山 忠教諭

第5学年 社会科学習指導案

日 時 平成29年2月8日(水)
 場 所 八幡小 5年教室
 対象学級 第5学年 24名
 指 導 者 畠 山 忠

1. 大単元名 「国土の自然とともに生きる」
 小単元名 「森林とわたしたちの暮らし」

2. 小単元の目標

国土の保全や水資源の涵養，地球温暖化の抑制など，人々の生活にとって重要な役割を果たしている森林資源を守るため，さまざまな取り組みがあることをとらえるとともに，自分たちが環境を守るためにできる取り組みや心がけについて考えるようにする。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
森林や木製品と，自分たちの生活との結びつきに関心をもち，意欲的に調べようとしている。また，国土の森林資源を守っていくことに関心をもち，これからの取り組みについて考えようとしている。	森林資源のはたらきや人々の生活との結びつきについて調べる学習問題を考え，表現している。また，国土の森林資源と人々の生活とが密接なつながりをもっていることや，森林資源を守ることの大切さについて考え，適切に表現している。	森林資源のはたらきや，森林資源を守り育てる人々の工夫や努力について，必要な情報を集めて読み取り，ワークシートにまとめている。	国土の保全や水資源の涵養，地球温暖化の抑制といった森林資源のはたらきを捉え，森林と人々との密接なつながりや森林保全の大切さについて理解している。

知識を整理した図

小单元「森林とわたしたちの暮らし」



4. 単元について

本大単元は、3つの小単元から構成される。まず第1小単元「森林とわたしたちの暮らし」では、森林の多い国土の様子をつかむとともに、森林資源の果たす役割とその重要性について捉える。その際、森林には風水害や土砂崩れなどの自然災害を防ぐ効果もあるということにふれ、のちの学習内容につなげていく。

第2小単元「自然災害とともに生きる」では、さまざまな自然災害が発生する国土の様子を捉え、その被害を最小限に食い止めるために、さまざまな公共事業や地域の協同的な取り組み、住民一人ひとりの備えが欠かせないことを考えていく。

そして、第3小単元「生活環境を守る人々」では、過去の公害の事例をとおして、より身近な生活環境の保全について考えていく。ここでは、地域の環境問題から世界全体の環境問題までを視野に入れ、自然と共生していくうえで大切なことは何かを考えるという、環境問題に対する本質的な課題を見据えて展開をする。

このように国土の特色を捉えたうえで、地域を見つめ直すという流れを基本にしつつ、グローバルな視点も持てるように単元を構成していく。

我が国の国土では豊かな自然環境が各地で見られ、国土の7割近くは森林である。私たちの暮らしは森林や木製品と深く結びついており、家屋の材料や茶わん、箸、家具など生活になくてはならないものである。また、土壌の流出や浸食を防いだり、「緑のダム」として水を蓄えて浄化したりすることや、二酸化炭素を吸収し、温暖化の抑制をしている。さらに動植物の住みかとなり森林浴などで私たち人間の心を和ませる役割も果たしている。このように暮らしに欠かせない森林であるが、近年、国内で使う木材は、国産よりも輸入木材の割合が高く、輸入に頼っている状況がある。よって林業に携わる人々の数が少なくなり、手入れがされず荒れ果てた森林も増えている。我が国の林業の現状を学習し、森林を守っていくためにはこれからの林業がどうあるべきかについても考えさせていきたい。

児童はこれまでに、「農業」「水産業」「工業」「情報通信」の第1・2・3次産業を学習してきた。私たちにとって食・自動車・テレビなどの身近で生活体験が多い内容であった。しかし「林業」については第1次産業に分類されているものの、その特色や具体的な様子については目にする機会が少なく、関心も薄いと考えられる。よって林業に対する興味関心を高めていくことを第一に考えていきたい。また資料で読み取ったことを活用し林業の姿を捉えさせていくことや、林業を守るための取り組みを考えさせ、表現させていくことに留意していきたい。

本小単元「森林とわたしたちの暮らし」の学習を進めるにあたっては、本学年の児童が4月に体験した「ライオン山梨の森 森林育成事業」を思い起こし、それを生かす導入をする。そして国土の様子について衛星写真を用いながら日本の豊かな森林環境を捉えさせ、その大切さや役割について考えさせていき、単元全体の学習問題「森林にはどのようなはたらきや、暮らしとのつながりがあるだろう。」を設定する。そして、小単元全体の学習問題の解決を図るために、各時間の学習では、例えば「森林を守り育てる仕事では、どんなことをしているだろう。」といった本時の学習課題を設定し、児童が主体的に追求できるようにする。特に絵や写真、資料映像などを活用していきたい。その中から具体的な働きについて読み取り、まとめていく。さらに資料を手がかりに友だちと話し合いながら本時の学習課題を追究し、自分の考えを深められるようにしたい。まとめ方についてはワークシートを綴っていき、学習全体を振りかえりながら見通しをもった学習活動ができるようにしていきたい。板書についても、めあては青枠、まとめは赤枠とし、視覚的に学習の流れがわかるように工夫する。

重要な用語については黄色で示し、意味を確認しながら用語を確実に理解させる。さらに資料の説明や意見発表、学習のまとめの際には、児童が学習した用語を適切に使えるように指導していきたい。本時の学習課題に対するまとめは、「知識を整理した図」を活用して、その時間におさえたい用語を用いて児童と一緒に確認しながらまとめるようにしていきたい。

5. 児童の実態（男子9名、女子15名、計24名）

本学級の児童は、学習に対して真面目に取り組んでいる。個別の指導が必要な児童が4名いるが、声かけをしたり班で活動したりする中で、学習に関わりを持ち参加することもできる。

事前のアンケート調査からは、社会科の学習に対して、よくできることは「大切な事柄を覚える」12名「資料を見て調べる」18名であった。また、あまりできないこととして「社会のことを話し合う」15名、「資料を見て自分の考えをもつ」13名と答えている。

社会の学習で学びたいこととしては、「世の中のいろいろな出来事」14名、「いろいろな仕事の工夫や苦労」12名、「仕事の内容」10名となっている。最後に、社会科の「楽しい」内容としては「見学」という児童が圧倒的に多く、実際に目で見て体験し学習することに楽しさを感じている。

発表することに対しては、かなり苦手になっている児童が多く、「まちがっているとはずかしい」などを理由に、全体の前で質問や意見を言うことに抵抗を感じている児童が多い。よって発表の際にはペアや班での少人数活動を通す中で、全体発表していくようにしていきたい。

本校では、校区内にライオン（株）の森林育成事業を行っている山林がある。そして5年生が毎年4月に、植林をしたり、土壌流出を防ぐための土留め用木柵を設置したりという活動を行ってきている。本学年も土留め用の丸太切りを体験している。よってこの経験を活かしながら学習を進めていきたい。

6. 部会研究との関わり

本部会では「言語活動の充実をとおして科学的社会認識を育てる授業研究」をテーマにしている。

まず、科学的社会認識を育てるために社会的事象をどう提示するかについては、児童の体験を有効に生かすとともに、視聴覚教材を活用して効果的な学習を行っていきたい。また、学習評価については「発言」「ワークシート」「学習感想」などにより行うが、学習感想については「事実認識」「事象間の関係把握」「社会的認識の深まり」という視点で見えていくことで、児童の実態把握や、授業づくり、学習評価を効果的なものもワークシートしたい。

次に、アクティブラーニングや言語活動の要素を取り入れる授業をねらうこととし、

(1) 単元の目標を明らかにし、児童が問題意識をもって追究解決していくことができる問題解決的な単元の学習過程、各時間の学習過程を実現する。具体的には、

①「知識を整理した図」を作成し、本単元の学習において指導する内容や、調べさせる内容、考えさせる内容を明らかにする。

②「対話」をより意識する。対話には「教材との対話」「自分との対話」「他者との対話」等が考えられるが、これを意識して指導する。

③導入の段階で、調べたことや資料で読み取れたことをもとに児童の気づきを取り上げ、単元全体の学習問題を設定する。単元全体の学習問題の解決を図るために、各時間の学習では本時の学習課題を設定し、児童が主体的に追究解決できるようにする。

- ④問題解決に向けては、予想を立てさせるなどして見通しを持たせるようにする。
- ⑤問題解決に向けて、提示した複数の資料を比較・関連付けながら追究できるようにする。
- ⑥ペアやグループ、全体での話し合いの場を設定し、自分の考えに自信が持てるようにする。
- ⑦「知識を整理した図」を生かして、学習した用語を使いながら学習のまとめを行う。

(2) 問題解決的な学習につながる「問い」の工夫を取り入れることで児童が主体的に学習課題に取り組めるようにする。「どのように～？」→「なぜ～？」→「これからは～？」というように「資料」と「問い」と「児童の思考」が寄り添うような授業づくりを心がける。

また、「深い学び」を実現していくためには、社会的な見方・考え方の視点を取り入れた授業づくりをしていくことが重要である。【社会的な見方や考え方の追及の視点】として

- ①位置や空間的な広がり視点（地理的位置、分布、地形、環境、気候、範囲、地域、構成、自然条件、社会的な条件 など）
- ②時期や時間的経過の視点（時代、起源、由来、背景、変化、発展、継承、維持、向上、計画、持続可能性 など）
- ③事象相互、立場相互の関係の視点（工夫、努力、願い、つながり、関わり、協力、連携、対策・事業、役割、影響、多様性と共生 など）

単元や本時が社会的な見方・考え方のどの視点を使っているのか吟味しながら授業を設定する。

7. 小単元「森林とわたしたちの暮らし」指導計画

時	題材 学習課題	学習のねらい	主な学習活動	評価規準・方法
1	森林を身近に感じる暮らし ①森林について調べたいことを考えよう	森林での体験や木製品の利用について話し合ったり調べたりして、森林と自分たちの生活との結びつきに関心をもつことができるようにする。 【見方・考え方】 ・位置や時間的広がり視点（分布、地形、環境、自然条件など）	○自分の身の回りにある木製品や、森林の自然とふれ合った経験について話し合っ、森林と生活との結びつきについて調べる学習問題を立てる。	【関心・意欲・態度】 森林や木製品と、自分たちの生活との結びつきについて関心をもって調べようとしている。（発言・ワークシート） Keywords 木製品、森林率
	本時	学習問題 森林にはどのようなはたらきや、暮らしとのつながりがあるだろう		
	森林のはたらき	森林がある場合とない場合の様子を比較して、森	○森林がある場合とない場合の違いをイラストなどの	【技能】 2つの異なるイラストを比

2	② 森林にはどのようなはたらきがあるだろう	<p>林にはさまざまなはたらきがあり、人々の生活と深く結びついていることを理解できるようにする。</p> <p>【見方・考え方】 ・位置や空間的広がり の視点（環境，構成，自然条件など）</p>	<p>資料からみつけ、発表した り話し合ったりする中で、 森林のはたらきについてま とめる。</p>	<p>較して、さまざまな違いを 見つけている。（発言）</p> <p>【知識・理解】 森林資源のはたらきと、森 林と人々のつながりにつ いて理解している。（発言・ワ ークシート）</p> <p>Keywords 安全，動植物， 木材，健康，緑のダム，防 砂林</p>
3	<p>森林を 守り育 てる 人々</p> <p>③ 森林 を育て る仕事 では、ど んなこ とをし ている だろう</p>	<p>森林を守り育てる人々の 工夫や努力，林業が抱え る課題について，資料を 活用して調べ，まとめる ことができるようにす る。</p> <p>【見方・考え方】 ・事象相互，立場相互の 関係の視点（工夫，努力， 願い，影響，役割など）</p>	<p>○「あれた森林」と「手入 れがされている森林」を見 比べて話し合う中で，林業 で働く人の話や資料をもと に，仕事について調べまと める。</p> <p>○林業が抱える課題を資料 から読み取る。</p>	<p>【知識・理解】 森林資源を守り育てる人々 の工夫や努力について，必 要な情報を集めて読み取 り，捉えている。（発言・ワ ークシート）</p> <p>Keywords 林業，天然林， 人工林，植林，間伐</p>
4	<p>森林を 守る</p> <p>④ 国産 の木材 や間伐 材をも っと利 用する にはど うした らよい だろう</p>	<p>森林を守るさまざまな取 り組みについて調べ，森 林を守るためにどのよう な取り組みや心がけが大 切かを考えることができ るようにする。</p> <p>【見方・考え方】 ・事象相互，立場相互の 関係の視点（関わり，協 力，連携，対策・事業）</p>	<p>○森林を守るために，私た ちにできることは何か考 える。</p> <p>学習問題のまとめ 災害の防止や水資源の確 保，木材の供給など，森林に はさまざまなはたらきがあ り，私たちの暮らしに欠かせ ない。国土や暮らしを守るた めにも，森林を守っていくこ とが必要である。</p>	<p>【思考・判断・表現】 国土の森林資源と人々の生 活とが密接なつながりをも っていることや，森林資源 を守ることの大切さにつ いて考え，適切に表現して いる。（発言・ワークシート）</p> <p>国土の森林資源を守って いくことに関心を持ち，考 えようとしている。（ワーク シート）</p> <p>Keywords ナショナルトラスト運 動</p>

5	最新の取り組み ⑤ 取り組みをみながらこれからの森林について考えよう	最新の森林を守る取り組みについて調べ、これからの取り組みで大切なことを考えることができるようにする。 【見方・考え方】 ・事象相互，立場相互の関係の視点（関わり，協力，連携，対策・事業）	○森林環境税やCLT，木づかい運動など，最新の取り組みを調べ，森林を守ることが地球を守ることにつながることを捉える。	【関心・意欲・態度】 これからの取り組みや心掛けについて考えようとしている（発言・ワークシート） Keywords 地球温暖化，CLT，森林環境税
---	---------------------------------------	--	--	---

8. 本時の学習

(1) 日時 平成29年2月8日（水） 5校時（14:00～14:45）

(2) 場所 5年1組教室

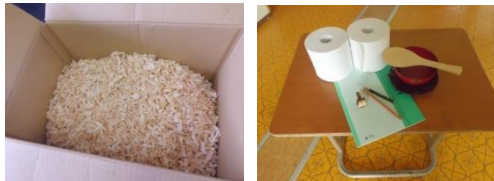
(3) 題材 「森林を身近に感じるくらし」（1/5 時間目）

(4) 目標 森林での体験や木製品の利用について話し合ったり調べたりして，森林について関心をもつことができる。

(5) 評価基準

【関心・意欲・態度】 森林や木製品と，自分たちの生活との結びつきに関心を持ち，意欲的に調べようとしている。

(6) 本時の展開

展開（分）	学習活動・内容	指導上の留意点（・）と評価（★）
つかむ 15分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">日本の森林はすばらしい。なぜだろう。</p> <p>1. 自然教室で森を歩いたり，ライオンの森の森林保全活動に参加したりしたことを思い出す。身近にある木製品を見たり，触れたりして話し合う。</p>  <p>2. 森林率，働きを換算するとなどの問題に答えることをとおして，日本の森林の素晴らしさについて考える。</p>	<p>・身近な木製品やこれまで体験したことを子どもたちから出させる。</p> <p>・身近なものを実物で持ち込み，木製品を五感で感じ取らせ学習意欲を高める。</p> <p>・クイズ形式で質問に答えさせたり，映像資料を見せたりしながらより興味・関心を持たせる。</p> <p>・身近なもワークシートして捉えられた後に，意外な一面など紹介し，調べてみたいという意欲を高める。</p>
自力解決 7分	<p style="border: 1px solid black; padding: 10px;">本時の学習課題 森林について調べたいことを考えよう</p>	

	<p>3. 木や森林についての写真や映像などから、自分が興味を持ったこと、調べたいことを考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業の仕事はどんなものがあるか ・どんな建物に使われているか ・木の性質は他にどんなものがあるか ・木や森林の役割は何か ・他の国の森林率はどうか ・換算の内容について ・森林の生き物について ・森林のはたらきについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、近くの友だちと話してみる。「教材との対話」をふくらませる ・ワークシートに記入する「自分との対話」 ・思いつかない児童には、更にペアで話し合ってみるように指示する。
集団解決 13分	<p>4. グループで交流しながら、調べたいことを絞っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の調べたいことを交流し、同じような内容はまとめながら、グループで2つの内容に絞る。 ・各グループで発表ボードに調べたいことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の考えを交流し、同じ観点の内容や、社会の学習時間にみんなで調べていきたいことを絞らせていく。「他者との対話」 ・発表ボードを使用し、互いのグループの考えを確かめさせる。 ・個人として調べたいことがあったら自主学習等で調べるように伝える。 ★【関心・意欲・態度】森林について調べたいことを意欲的に表現している。(発言)(ワークシート)
価値の共有 7分	<p>5. 出された調べたいことをグルーピングして、学習問題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>まとめ</p> <p>森林にはどのようなはたらきや、くらしとのつながりがあるか調べよう。</p> </div>	<p>[森林と、森林の]の用語を使って全体の中でグルーピングさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルーピングの後、まとめて今後の学習問題とする
振り返り 3分	<p>6. まとめをワークシートに記入し、学習感想を書く。</p>	

(7) 評価の具体【森林や木製品と、自分たちの生活との結びつきに関心をもち、意欲的に調べようとしている】

Aの児童の姿	評価規準を実現した姿	Cの児童への手立て
--------	------------	-----------

<p>○身近な木製品や森林とふれ合った経験について思いつくものをあげ、調べていきたいことをワークシートに記入して、意欲的に話し合っている。</p>	<p>○身近な木製品や森林について、調べていきたいことをワークシートに記入している。</p>	<p>○ペアで話し合わせたり、他の子どもの体験談や自分たちの経験を写真などで具体的にイメージしたりできるようにする。資料からの読み取りでは、注目すべき箇所を具体的に提示し、丁寧に読み取らせる。</p>
<p>評価方法：自分の体験や経験で思いつくものをあげているか、調べていくことを意欲的に話し合っているか、それをワークシートに記入しているか、話し合いの様子や発言、ワークシートから評価する。</p>		

9. 板書計画

2/8(水)

課題

森林について調べたいことを考えよう

日本の森林 すばらしい

①森林や木製品は、自分たちの暮らしに身近である。



森林のはたらき

森林と生き物

森林の様子

森林とくらし

②日本の森林は、世界2位の森林率でとても豊かである。

まとめ

森林にはどのようなはたらきや、くらしとのつながりがあるか調べよう

調べよう

【補助資料】

1 時間目に使用したワークシート

1 時間目 2 時間目 3 時間目 4 時間目 5 時間目

学習課題
木 森林について調べたいことを考えよう。

調べたいこと
【自分の考え】いくつでも

- 種類は何種類あるのか
- どうしてこんなに森林があるのか

【班の考え】2つにしぼる

- 1 日本にはなぜ森林が多いのか
- 2 場所や気候によって木や食べ物などの種類はちがつのか。

まとめ
森林のはたらきや様子を調べよう。

感想 ①学習内容について ②がんばったこと ③友だちのこと ④その他

番号 ① 日本の森林率や順位など分かり、日本は世界で2位ということが分かった。

森林に恵まれた国なんですね。

1 時間目 2 時間目 3 時間目 4 時間目 5 時間目

学習課題
木 森林について調べたいことを考えよう

調べたいこと
【自分の考え】いくつでも

- 気候によって生えてくる場所や種類は違うのか。

【班の考え】2つにしぼる

- 1 日本にはなぜ森林が多いのか
- 2 場所や気候によって木や食べ物などの種類は違うのか。

まとめ
森林のはたらきや様子を調べよう

感想 ①学習内容について ②がんばったこと ③友だちのこと ④その他

番号 ④ 森林ということをはじめて思った。
率

世界で2番目の高さですね。

2 時間目

1 時間目 2 時間目 3 時間目 4 時間目 5 時間目

学習課題
森林はどのようなはたらきをするか

【森林がある場合】

- 動物がいる。
- 川の水がキレイ。

【森林がない場合】

- 動物がいない。
- 土はくずれがおきてる。
- 川がよごれてる。

まとめ
森林は風や砂、雨、雪、しんじょうやそう音をやらわけて森林は雨水をたくわえて少しづつ流すダムのようなはたらきがあり森林は緑のダムといわれている。

感想 ①学習内容について ②がんばったこと ③友だちのこと ④その他

番号 1 森林がないと私たちのかんきょうが悪くなるので森林があつてよかったと思いました。森林が緑のダムとよばれているなんて知らなかったです。水をたくわえている。とう大切なはたらきがあるんだね。

3 時間目 (表)

1 時間目 2 時間目 3 時間目 4 時間目 5 時間目

【林業のかかえる課題】資料からどんなことが読み取れますか。

①日本の森林の区分

国土面積の内なる森林の割合
森林の種類
人工林・天然林の割合

②林業で働く人の推移と高齢化

林業で働く人の推移と高齢化

①からわかること
国土の面積の6割を森林がしめている。天然木が約5割をしめている。

②からわかること
林業で働く人はだんだん減ってきている。それと同時に、高い化率も高くなっている。

まとめ
森林がたいへんな理由。
1. 人工林が4割をしめているのに！
2. 林業ではたらく人が少なくなつて、高齢化率も高くなつてい
ため、
3. たくさんの人工林が荒れかかっているから。

感想 ①学習内容について ②がんばったこと ③友だちのこと ④その他

番号 ② まとめをめぐって考えた！

森林が大変な理由をよくまとめましたね。

3 時間目 (裏)

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	5 時間目
-------	-------	-------	-------	-------

学習課題
森林の「たいへんだ！」(課題)を考えよう。

【手入れのされた森林と、そうでない森林を見比べると…】気づいたことを書こう。

手入れされていないと、全体的に茶色い。
手入れされていると、緑がたくさんある。
手入れされていると、花粉やバグ。

森林が手入れされていないと、光がとどかず、災害(おこ)やすい。

【森林を守り育てる仕事】

- ① 苗木を育てる。種が落ちて、畑に植える。(0~3年)
- ② 植林。育てた苗木を、山などに植える。(3~10年)
- ③ 下草刈り、除伐。植えた木の成長をさまたげる雑草を取り除く。(10~20年)
- ④ 枝打ち。節のない木材をつくるために、下木を切り落とす。(20~50年)
- ⑤ 間伐。太陽の光がよこどくよう下、一部の木を切りおし木と木の間を広げる。(20~50年)
- ⑥ 伐採、運搬。チェーンソーで木を切り、トラックに木を積み込んで運ぶ。(50~80年)

4 時間目

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目	5 時間目
-------	-------	-------	-------	-------

学習課題
森林を守るためにできることを考えよう。

【ナショナルトラスト運動】とは何かまとめよう。

有名な取り組みとして、森林などを開発から守るために、
多くの人からほしんを集めて土地を買い取り保全していく運動。

(開発をさせずに、
保全していく)

↓
土地買い取り保全。

【国産材や間伐材を使うアイデア】を書こう

国産材のわりはしをたくさんつかう。
間伐材のえんぴつを使う
国産材の家を建てる。
" フォーク、食器、

感想 ①学習内容について ②がんばったこと ③友だちのこと ④その他

① ナショナルトラスト運動とは何か分かった。
アイデアもたくさんかけた。
自分の家も少し、国産材の家だから、
少し木のおいもするし、間伐材が国産材も、もついで
みたい。

無だにはしはないけど、国産材もどんどん使って
いった方が、「森林」(人工林)にとってはいい
と思う。